

研究成果を未来へつなぐ

そ
う
う。
オ
ー
プ
ン
ア
ク
セ
ス、

愛媛大学では、オープンアクセス方針を策定し、研究成果の公開を推奨しています

愛媛大学機関リポジトリで オープンアクセスを実現できます

機関リポジトリとは、学内で創出された研究や教育の成果を恒久的に保存・蓄積し、無償で公開する、オープンアクセス実現のためのシステムです。

機関リポジトリで公開することで、内閣府「[学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針](#)」の、【対象となる競争的研究費による学術論文及び根拠データの機関リポジトリ等への掲載】義務化の要件を満たすこともできます。



機関リポジトリでの公開には様々なメリットがあります

研究成果の
視認性
向上

論文の
被引用率
アップの
可能性

研究成果を
広く
社会に還元

絶版や
資料滅失を
防ぐ

✓ Google Scholar や CiNii Research などのデータベースにも収録されます
✓ 永続的識別子である DOI も付与できます

愛媛大学機関リポジトリでの研究成果公開手順

学内の研究者

図書館

著作権者への確認・研究成果の準備

- ✓ 登録・公開にあたって、共著者への同意確認を行ってください。
- ✓ 論文の場合は、著者最終稿をご準備ください。

* 著者最終稿とは、査読が完了し、最終的に出版社に受理された原稿を指します

登録申請

詳細はこちら→ <https://opac.lib.ehime-u.ac.jp/SUPPORT/howto-repository>

研究成果を添付の上、いずれかの方法で登録申請してください。

[教員業績
データベース](#)

[登録申請
フォーム](#)

[紙の
登録申請書](#)

図書館で確認・登録（公開）作業

申請内容と出版社の著作権ポリシーの確認後、リポジトリに登録し、申請者に公開URLを連絡します。



オープンアクセスを実現

[リポジトリで公開](#)



[公開翌日に、教育研究者要覧に
リポジトリへのリンク追加](#)

[教育研究者要覧](#)



* 教育研究者要覧で公開されている研究成果のみ



そうだ またオープンアクセス、しよう。

